

# ふれあい

～三輪地区ふれあい活動推進協議会だより～

第28号 平成31年3月発行

三輪地区ふれあい活動推進協議会

〒669-1514 川除675番地

(社協 三田三輪地域福祉支援室内)

電話:559-5965 FAX:559-5945

メール:chiiki@sanda-shakyo.or.jp

## 三田市社会福祉大会～三輪地区の方もたくさん表彰！～

平成31年1月26日(土)に三田市総合福祉保健センターで三田市社会福祉大会を開催しました。三輪地区では福祉功労者として・垣均さん、楠本勇さん、中林玲子さん、前中智子さん、宮口美幸さん(以上民生委員・児童委員)、大久保初江さん(外出介助ボランティア「かけはし」)、福祉功労団体としてふれあいサロン「華」(杉ヶ丘区・藤の台地域のサロン)の表彰がありました。また、記念講演では、ご近所福祉クリエーターの酒井保さんによる『“支え合い”が生み出すたくさんのお宝』というテーマで、具体的な事例を含めてわかり易いお話をありました。他にも、全国でも珍しい『認知症仮想体験』や、関西学院大学理工学部井村研究室によるVR(バーチャルリアリティ)体験コーナー、サウンドテーブルテニス(視覚障がいのある方、またはアイマスクをした状態での音を頼りにした卓球)の体験、ふくしまルシェ(市内の福祉事業所やボランティアグループ等によるバザー)など、福祉を身近に感じ家族で楽しんでいただける催しとなりました。

【三田市社会福祉協議会 三田三輪地域担当 中沢 賢哉】



## ふれあい健康講座

平成31年1月31日(土)総合福祉保健センターの多目的ホールにおいて、ふれあい健康講座が開催されました。今回のテーマは、「ピアノで語るうた MONO がたり～私と母と認知症～」と題し、神戸市在住のシンガーソングライター進藤工ミさんをお招きして開催。幼い頃、母に厳しく育てられ、あまり甘えて抱きつくことができなかつたこと、母が認知症になってから立場が逆転し母に暴言・虐待へと走り出したことなどの経緯を、こと細やかにピアノで弾き語り、「自分の後悔・懺悔、ごめんね。ありがとう」と締めくくられました。

最後に、「認知症になる方は増え続けていますが、必ず予防・進行を遅らせる策はあります。皆さんが仕事や趣味ができるだけ長く続けることが脳の活性化につながる」と結ばれました。参加者の中には素敵なお話を涙する方もあちこちで見られました。家族ひとり一人が安心して幸せに暮らしていくために何ができるか、見つけ直す機会になったのではないかと思います。



【企画部会部会長 東部 貢】

## 志手原小学校区ふれあいもちつき大会

平成30年12月4日(火)に恒例の校区ふれあいもちつき大会が行われました。校区ふれあい活動推進協議会・PTA等の協力のもと、志手原校区老人クラブ連絡協議会(校区老連)の年間事業(活動)に取り入れ、児童・園児の餅つき体験を実施してきました。JA兵庫六甲三輪支店の営農相談員の方にもち米苗水田をご準備いただき、5月31日(木)には小学校4・5年生が老人クラブと田植え体験、10月4日(木)には稻刈り、そこで収穫したもち米55kgをもって当日を迎えました。当曰は曇り空でしたが、暖かな日で手伝いの方々にとっても良かったと思います。

前日の午後から老人クラブ・PTA25名でもち米洗い、蒸し釜4基、臼4基、薪、ガス釜等を準備。当日は早朝8:30から蒸し釜に火を入れ、順次、園児・1~6年生までがもちつきを体験しました。園児は初めての体験で「ヨイショ、ヨイショ」の掛け声で楽しんでいました。

つき終わった餅はせんざいにし、「すごくおいしい」とおかわりをする子もたくさんいました。特に4・5年生は自分たちで田植え、収穫をしたもち米で作った餅の味は格別であったと思われます。最後に6年生全員で「今年もみなさんおかげで、もちつき大会が開かれたことがとっても嬉しかった」等の謝辞が述べられました。校区老連としては次年度も事業(活動)に取り入れて実施していきたいと思います。



【志手原校区老人クラブ連絡協議会会長 山門 健人】



## 松が丘校区住民座談会

平成31年2月24日(日)に、三田市総合福祉保健センターにおきまして、松が丘校区の住民座談会を開催しました。区・自治会長やふれあい推進委員ら18名に加え、社会福祉を学んでいる2名の学生を迎え、区・自治会で抱える困りごと・課題や、地域で行ってきた取り組みや今後の活動について、話し合いを行いました。昨年度の座談会では、区・自治会やふれあい推進委員などの地域の組織が、様々な活動を行っていく中で改めて近所付き合いの大切さが浮き彫りになりました。今年度においても、地域の組織の活動や敬老会、資源ごみの回収などの取り組みを、また最近多発している災害(豪雨災害や大地震)発生時の対策として、各区・自治会で防災訓練を実施し、啓発活動を行っています。災害発生時には、地域の助け合いが大切になるといわれています。

また、少子高齢化により、伝統行事の継承など今まで行われてきた活動の縮小を余儀なくされたり、区・自治会活動を負担に感じている人も多いという実態の報告もありました。地域コミュニティを通して生活環境を充実するために、一人暮らしや高齢者のサポート体制(ゴミ出しの負担軽減



、外出支援など)の実現や、地域の方の知恵を借りて住民が安心して暮らせる地域づくり、区・自治会活動のスリム化(本当に必要とされるものに取り組む)、住民の交流の場を広げ住民のつながりを大切にする魅力ある地域づくりの推進がより一層必要になっています。

【松が丘校区校区長 市田 康明】

# 三校区まちづくり協議会合同イベント「スポーツ・フェスタ」

## 囲碁ボール大会&コミュニケーション麻雀大盛況でした！！

2月9日(土)13時30分から、キッピーモール6階の多目的ホール全室にて囲碁ボール大会&コミュニケーション麻雀を開催致しました。24チームが時には熱くなりながら競い合い、初心者もベテランの皆様も笑顔の絶えない楽しい大会になり、コミュニケーション麻雀は3人1組でコミュニケーション麻雀連盟の田川氏ご指導のもと、お隣りの方と相談しながら楽しく進めておられました。一番最初に上がった方には、飴ちゃんがプレゼントされたそうです。

今回の囲碁ボール大会は参加人数72名、まち協役員10名、スポーツ推進委員8名、コミュニケーション麻雀16名と合計約120名の皆様が集まり競い合いました。また、協賛として三輪地区老人クラブ連絡協議会から、優勝・準優勝・3位の賞品を、三輪地区区長・自治会長会よりコミュニケーション麻雀の飴ちゃん・囲碁ボールのホールインワン賞のチョコレートを、まちづくり協議会からお茶120本をそれぞれ協賛品としていただきました。

この度の「スポーツ・フェスタ」は三輪地区老人クラブ連絡協議会の囲碁ボール大会をベースに三輪地区区長・自治会長会、スポーツ21等の声かけにより、24チーム・8レーンの大掛かりな大会が開催できました。なお、囲碁ボール・コミュニケーション麻雀の搬入・搬出については、老人クラブの会長、区長の方々等、多くの役員の方によりご協力頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

【三輪小学校校区まちづくり協議会事務局 室山 圭子】



優勝、狙ってるでえ～



優勝チームは虫尾区さんでした。おめでとうございます。

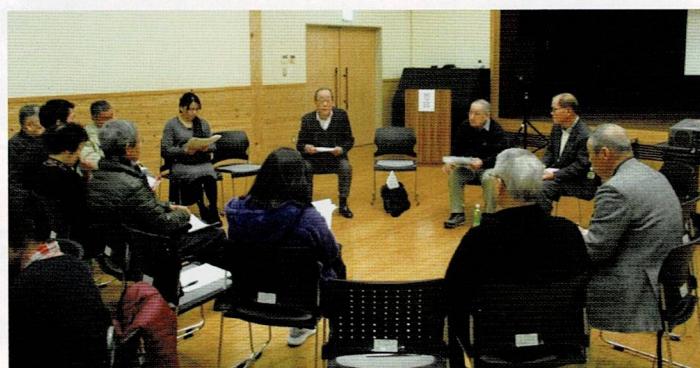
## 「人と自然の博物館、赤澤教授」

3月3日(日)有馬富士共生センター多目的ホールにおいて、三校区「まちづくり協議会」共催で、赤澤教授の地域計画講演会を開催いたしました。当日は日曜日にも関わらず、三校区で約80名の皆様にお集まり頂きました。皆様方の関心の表れだと感じ入りました。

主なテーマは「私たちが住むまちの将来像を考える」に沿って講義を拝受いたしました。その中で、まちづくり協議会と地域づくりをどの様にするか等多くの考え方や、他市町での取組を披露して頂き、まちづくり協議会で協議された改善策を行政に要望する等、約60分に渡り地域計画の重要性を講義頂きました。その後、校区別に分散しそれぞれ校区内での意見・及び疑問を教授に質問し、回答を頂いて参考にする有意義な講演会でした。



【三輪小学校区まちづくり協議会 粕井二三男】



# サポートみわ



ゴミ出しに困っておられる方はお気軽にご連絡ください。

090-6208-5540 (受付時間 月~金 9時~17時)

対象:三輪小学校区にお住いの高齢者の方、子育て中の方、障がいのある方、病気で動けない方等

1回 50円